

第366回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 2020年3月23日(月)午前11時00分～
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 7人 出席委員 7人(内レポートでの意見1名)

出席委員

若杉 隆平	委員長	田村 明子	副委員長
飯塚 智	委員	増満 浩志	委員
野内 隆裕	委員	柳川 かおり	委員

会社側出席者

代表取締役社長	務台 昭彦
取締役放送本部長兼編成局長	稲田 裕之
取締役報道制作局長	寺内 邦彦
報道制作局制作部長	竹野 和治
番組ディレクター	時田 美昭
事務局	安部 貴俊 小野塚由起子 吉田 康宏

4 議 題

1) 番組合評

「コイ棲むふるさと～日本の原風景・山古志の四季～」

[放送：2020年2月29日(土)10:30-11:25]

(説明：番組ディレクター 時田 美昭)

2) 会社報告

①2月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)

②講じた措置、公表など定例報告等 (報告：番組審議会事務局)

3) その他

5 審議の概要

会社側からは、「この番組は、夕方ワイド新潟一番のコーナー“ガタトピ”でほぼ1年にわたり取材を続け、計8回放送した「錦鯉シリーズ」を追加取材も加えて1本の特別番組にまとめたものです。“錦鯉”の素晴らしさ(独特の模様、美しさの基準等)を短時間の放送で伝えるのは簡単には説明できないので難しいと思ったが、初めて“錦鯉”見聞きする小学生や県民の為に番組内では極力専門用語を使わず、「入門編」として分かり易い番組を作り“錦鯉”の魅力を幅広い世代に知っていただきたい。というテーマで制作した。」という趣旨の説明があった。

(委員の意見)

- 錦鯉の事がどの年代の方が見ても分かり易い番組になっていて、楽しめると思った。
- 季節ごとの美しい山古志の風景の映像が印象に残った。

- 映像も内容も素晴らしい番組だと思った。
- 知的満足感が得られた番組だった。
- 鯉師の存在も初めて知り、また苦労もわかり興味深く視れた。
- 産卵のタイミングを鯉たちに任せて家族総出で待ったり、眠らせて人工授精したりとびっくりするような内容もあり興味深かった。
- 鯉の種類を紹介するテロップのタイミングが早いと思う。
- 音と映像があっていた。
- 山古志の自然、錦鯉の鑑賞法・人気の理由、災害のあった山古志の人々のつながりが分かり易くスッと見ることができた。
- ドローンをうまく使っていた。
- 風景と鯉のカットの割合もちょうど良いと思った。
- ナレーションもゆったりとして番組の雰囲気合っていた。
- 事実なので仕方がないが、繁殖のシーンの映像が少しきつかった。
- 美しい鯉の映像をもう少し見たかった。
- 中越地震前後の映像もあったので内容に深みが出ていた。
- 四季の変化と鯉の変化をうまく紹介できていると思った。
- 上から映した鯉の美しさが印象的でした。
- どうして外国人の顧客が多いのか？日本での知名度に対する説明が欲しかった。
- 今後、錦鯉の産業がどうなっていくかも心配にもなった。
- 様々な国の方が来ていたので、その方からの意見や家での鑑賞方法などもっと踏み込んだものがあれば良かった。
- 最後のナレーションが番組内容と合わない感じがした。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

2月…… 128件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(2020年2月17日)から、昨日(2020年3月22日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第365回審議会では、

「NNNドキュメント'20 とき つなぐ島

あすの空に舞え 朱鷺色の翼」

を審議いただき、委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第366回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・第365回番組審議会議事録
- ・2月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO冊子(N0,210)
- ・民間放送新聞(2/23号、3/3号,3/13号)

以上